

～わたしたちの地域貢献～

三谷八幡宮清掃ボランティア



ウインドヒルの皆さんの清掃奉仕

ウインドヒルの皆さんに三谷八幡宮の清掃奉仕を始めていただいて早くも1年余りが過ぎました。職員の方達も含め10人くらいで広い境内を清掃するのはなかなか大変なことです。でも、毎回皆さんの素直な態度と一途な気持ちで清掃している姿に清々しさを感じています。皆さんが、帰った後の境内には凜とした空気が漂い本当にありがたいなあと感じています。

今後も、こうして積極的に地域に向き活動される気持ちを私達も受け止め、皆さんと交流できる場を広げていけたらと思います。

三谷八幡宮 宮司 桐本 千枝



去年6月より境内の草抜きや落ち葉ひろいなどの清掃ボランティア活動を始め、1年が経ちました。最初は慣れない手つきの利用者さんも毎月継続することで、今では自分から清掃に取り組めるようになりました。丁寧に草を抜く姿や協力して落ち葉を集める姿に成長を感じます。これからも地域の一員として、地域とのつながりを大切に利用者・職員共に頑張っていこうと思います。

ご協力頂いた三谷八幡宮の皆様、ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

ポム・ド・パンの理念

障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。

障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。

障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。

障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

【ウインドヒル、風見の家 主な行事】

風見の家外出行事 5/14・7/12



風見の家の利用者で外出。アミュージアム高松でボウリング、こはる食堂で海鮮定食など自分達で選んだランチの味は格別でした。

生活支援員 安倍 昌子

外食(公淵公園、こはる食堂) 7/2・7/5



2日間、外食行事がありました。1日目は雨天の為、地域交流棟でお弁当後、皆が楽しめるような活動メニューに変更、2日目はこはる食堂で食事後、空港公園を散策に行きました。2日間、普段とは違った場所、豪華な食事、楽しい活動を行い充実した時間を過ごしました。

生活支援員 松田 仁美

BBQ

6/1



利用者、保護者だけでなく、地域の方々など総勢 183 名の方々に参加いただきました。とても暑い日でしたが美味しいお肉や野菜をいっぱい食べ、親睦を深めました。ボランティアとして参加し、お手伝いをしてくださった皆様ありがとうございました。

生活支援員 吉本 唯人



スマイルスポーツデー

8/9



地域交流棟で、スマイルスポーツデーを実施しました。保護者の方も参加し、曲に合わせて鳴子を使ったパフォーマンスでは一緒に楽しみました。

主任生活支援員

村川 文生

スマイルスポーツ	
13:40	① 予選でU&Tロック
13:50	② ジンギスカン・USA
14:00	③ ドリブルリレー
14:15	④ デカバトンゲーム
14:35	⑤ オセロゲーム
14:55	⑥ 正しいけ玉入れ
15:15	⑦ 段ボールキャッチャー

競技一覧

地域とのつながり

5/25

春の交通安全運動街頭 キャンペーン

グループホーム風見の家利用者とともに、空港通り「春の全国交通安全街頭キャンペーン」に参加。社会貢献の一環として、地域の方々と共に啓発活動をする良い機会でした。安全運転のプラカードを持ち、ドライバーさんに呼びかけました。

生活支援員 平山 学



5/15

三谷町春季大運動会 (三溪小学校)

汗ばむ陽気の中、利用者9名と保護者・職員・ボランティアの9名、総勢18名で、三溪小学校の運動場で行われた三谷町春季大運動会に参加しました。地域住民の方々の中に溶け込み、多くの競技と一緒に参加し、笑顔も多く見られました。

主任生活支援員 鎌田 泰明



三溪幼稚園バザー

6/22

ウインドヒルのテントを運動場に張らせてもらい、利用者・保護者・職員・ボランティア(総勢16名)で三溪幼稚園のバザーに参加しました。

温かく迎え入れてくれ、エコポットや竹炭、雑巾や玉ねぎを販売したり、出店を見て回ったりと楽しい交流の場となりました。

主任生活支援員 鎌田 泰明



7/6

三谷保育所夏祭り

夏祭りのバザー店に今年も沢山の人が来てくれました。プレゼントを嬉しそうに手に取る子どもたちの姿、また利用者が作ったエコポットを手に取り、お母さんに渡す姿が見られうれしく感じました。

ウインドヒルの梅の木から作ったおもてなし梅ジュースもおいしい!と好評でした。

生活支援員 田中 美穂



林ふれあい夏まつり (林小学校)

7/20

鳴子の小気味良い音とリズムと共に今年も小野川先生と一緒に「ジギスカン」「USA」をノリノリで披露しました。沢山の拍手と一緒に踊ってくれる子供達もあり、施設での練習の成果をステージで見てもらうことができました。

保護者 石田 恵美



職員研修

口腔ケア研修 6/24



しん治歯科医院の医師、衛生士さんに来て頂いての研修も3回目となりました。今回は自閉症の方の特性や内服しているお薬の副作用についても触れて下さり興味深い研修となりました。実習ではブラッシング圧を実際に量り日頃のブラッシングを見直すいい機会となりました。

主任看護師 金川 恵子

虐待防止研修 8/19



尾崎俊二氏（香川県障害福祉相談所、香川県障害者権利擁護センター）を講師に招いて研修棟にて虐待防止研修を実施しました。虐待防止チェックリストの実施では自身の都合による不適切な支援に気付くことができました。適切な支援を組織で考え、虐待防止の意識を高め、正しい支援をしていきたいと思えます。

主任生活支援員 村川 文生

成人期のプログラム ~認知発達のアプローチ~ 講師 佐々木 敏宏氏~ 7/29



自閉症セミナーコーディネーターの佐々木敏宏氏による、成人期のプログラムについて、研修を受けました。現在の法人では、施設立ち上げの際、親の会の方々が見学に行き、職員も施設へ研修に行かせて頂きました。

太田ステージを基軸においた TEACCH と ABA の応用と聞くと、とても難しい響きです。支援の現場でも困難事例にどう対応するかの繰り返しです。研修後、私達の支援の行き詰まりについても、適切なアドバイスを頂きました。

利用者の拘りが軽減され、利用者にとっての住みにくさが一つずつ解決に導いてくれることを切に願っています。

主任生活支援員 和田 真由美

出張報告

特定給食施設等従事調理師研修会

6/6

今回の研修で「食品ロスと環境」のお話がありました。香川県のゴミの処理費用は、1年間に約1億円もかかっているとのこと。まずは一人一人がムダを省き、環境・社会・人に優しい「エシカル消費」の大切さを感じました。

主任栄養士 堀 仁美

令和元年第1回 施設交流情報交換会 7/18

施設交流情報交換会が社会福祉法人白鳥園で行われ、参加させていただきました。「しょうがい者のリハビリテーションについて」の講義を理学療法士の先生の指導の下、利用者の日々の身体に関する問題や課題、高齢化による衰えに対する問題を専門的な知識・技術を取り入れて対応していることに感心しました。良い刺激になり、ウインドヒルも数年後は取り入れていきたいと思えました。

生活支援員 松田 仁美

中四国職員研修大会（徳島市） 7/25、26

今回60回を数えるこの研究協議会に参加させていただき、講演会や分科会での討議を通して、支援の在り方を考えると同時に、利用者も職員も共に輝ける事業所を目指して日々の業務に取り組んでいきたいと気持ちを新たにしました。

生活支援員 松原 美恵

●【消防立会による避難訓練】

毎年行われている法定検査を実施していただくことでより安全、安心の環境の意識を高めています。そして法人では、一年を通し、毎月災害、水害、地震などを想定した訓練を行っています。私たち職員が忘れてはならないことは、実際に災害が起きた時、慌てずに利用者を安全な場所まで誘導する事です。 主任生活支援員 和田 真由美



●【高松大学より実習生受け入れ】

今年も、発達科学部子ども発達学科の生徒さんが、6月10日～6月22日の期間、ウインドヒルで実習を行いました。福祉現場を初めて体験し、おどろきと感動の連続であったとのコメントを頂きました。



●【ウインドヒルに見学に来られました】

障害者・家族支援サークル ぱずるす

子どもたちの将来を考えるにあたり、仕事の場や生活の場を見学させて頂き、ありがとうございました。

徳島県阿南市 障害者支援施設 西室苑

日中の日課（作業、レク、クラブなど）、支援方法、環境整備などソフト面、ハード面で様々な質問がありました。

●【個別支援計画モニタリング】

- ・個別支援計画作成後、6ヶ月ごとにモニタリングを実施しました。
- ・2019年8月20日～8月30日すべての保護者様と面談を実施しました。ご本人の様子などの情報を施設と家族と共有し、より良い支援、関わり実施のために有意義な時間となりました。家族支援も必要なケースも見受けられました。家族に寄り添いながら今後活かしていく機会でした。

●【保護者会より まさき育成園に施設見学に行きました】

施設見学（まさき育成園）

施設見学は初めての参加でしたが、特にグループホーム「まさきの里」は管理体制や医療的ケアを考慮した「看取り」までを行う施設で風呂設備も機械浴、特殊浴槽が整備された快適な住環境が提供されていました。将来、子供たちの高齢化を考え、このような施設の必要性を感じました。 保護者 岩部 雅人

●【作業棟の靴箱が新しくなりました】



作業棟南（生活介護）



作業棟北（就労支援B型）

オーダーの良さが
目を引きます

以前の靴箱に比べ、収納スペースが増え、間切りを設置することで個別に靴を収納できるようになり、整頓がしやすくなりました。作業棟北は青色、南はオレンジ色になっており、玄関の雰囲気ぐっと明るくなりました。

また、購入金額の半分を保護者会より補助して頂きました。ありがとうございました。

香川県自閉症協会よりお知らせ

今年で第5回を迎え、1周年になりました！

誰でも参加OK

オーイ！遊びにおいでよ／子育て相談会

オーイ！今年(2019)も
遊びにおいでよ！！

発達障害のあるお子さん＆保護者のみなさんへ、交流会のご案内

日：2019・7・30(火) 8・20(火)
 2020・3・27(金)
時間：いずれの日も 10:00～12:00
場所：障害者支援施設 ウインドヒル
 地域交流棟（高松市三谷町 3851番地）
内容：みんなで楽しく遊ぼう
インストラクター：小野川 秀佳 先生
対象：発達障害のある小学6年生以下の
 お子さん・保護者 兄弟参加可
定員：10組 参加費：無料
持ち物：体操の出来る服装 上靴 水筒
参加申し込み＆お問合せ先：
 ☎087-888-4277 #087-888-4278
 autismroyal.ocn.ne.jp
 香川県自閉症協会(ウインドヒル内)
 主催：香川県自閉症協会

ご案内

ウインドヒルでは、発達障害のあるお子さん＆保護者の皆さんへ『交流会』と『子育て相談会』を今年度も実施いたします。ぜひ、ご参加ください！また、関心のある方へもお知らせください。お問い合わせ等は、ウインドヒル（087-888-4277）までお願い致します。
<主催：香川県自閉症協会>

「自閉症・発達障害」児・者の子育て相談会ご案内

「材料費」 といっても
 堅苦しいものじゃありません。
 お話し相手は、専門家ではありません。
 育てにくい自閉症の子ども達を、
 がんばって育ててきたOBのママ＆ママです。
 話せば、楽になったり or ホットしたり or
 元気がでたりするかもしれません。
 できれば、一度お話しに来てみませんか？
 一人でも、お友達と一緒にでも
 もちろん、子ども連れてOK！
 お茶を飲みながら、あんな話やこんな話を
 いっぱい、いっぱい話ませんか？

日：2019 6・4(火) 10:00～ 9・3(火) 19:00～
 12・7(土) 16:00～
 ※日中は変更する場合があります。
場所：障害者支援施設ウインドヒル 研修棟
 (〒761-0450 高松市三谷町 3851 番地)
参加申し込みのお問合せ先
 参加希望の方は、必ず事前にご連絡ください。
 ☎087-888-4277 #087-888-4278
 香川県自閉症協会(ウインドヒル内)
 主催：香川県自閉症協会

つながり
～みんなで繋りましょう～

ウインドヒルの15年間の関わりから感じたこと 利用者の成長と保護者の想い、これからの課題

平成 18 年の措置から契約という大きな福祉制度の変化は、契約だから福祉施設と本人（親）は対等であるということでした。しかし、対等どころか障害者支援施設に入所できたら、わが子を長く見てほしいから何も言えないという親心が本音でした。自分の想いを言えない本人達にとって、親は本人たちの代弁者です。ウインドヒルには、親の想い（わが子の成長を願う心）がしっかりとありました。

統括主任 佐々木敏宏

障害者支援施設でよく聞く話があります。『何もできないのだから何もさせない』、『行動問題があるから活動は困難である』、『施設は安全安心が第一である』『職員の手が足りないから見守りでいい』。このような施設の運営中心の考え方（本人たちが不在になる）は、何もさせないことさえあたりまえになってしまいます。

入所施設に勤めて 35 年になります。親の想いは仕事をするうえで大事な理念の一つであると信じて仕事をしてきました。この 35 年の間に、この理念が次第に失われていく現実を見てきました。なぜか。理念だけでは継続できないからです。一人ひとりが、活き活きと暮らす。その具体的な支援を組み立てていく必要があるのです。それが次の世代につなぐ大切なことだと考えます。

資金収支計算書

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日
(単位:円)

第1号の1様式

勘定科目		決算	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	2,539,868
		障害福祉サービス等事業収入	254,492,110
		借入金利息補助金収入	276,250
		経常経費寄附金収入	250,000
		受取利息配当金収入	18,283
	その他の収入	1,210,897	
	事業活動収入計(1)	258,787,408	
	支出	人件費支出	133,559,064
		事業費支出	28,413,634
		事務費支出	18,375,790
就労支援事業費支出		2,607,335	
支払利息支出		309,580	
その他の支出	5,800		
事業活動支出計(2)	183,271,203		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	75,516,205		

勘定科目		決算	
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄附金収入	5,450,000
		施設整備等収入計(4)	5,450,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	5,833,000
		固定資産取得支出	31,348,801
		施設整備等支出計(5)	37,181,801
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-31,731,801		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	676,384
		サービス区分間繰入金収入	300,000
	その他の活動収入計(7)	976,384	
	支出	積立資産支出	758,004
		サービス区分間繰入金収入	300,000
その他の活動支出計(8)		1,058,004	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-81,620		
予備費支出(10)			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	43,702,784		
前期末支払資金残高(12)	285,875,872		
当期末支払資金残高(11)+(12)	329,578,656		



貸借対照表

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日
(単位:円)

第3号の1様式

資産の部		当年度末
流動資産	342,903,973	
現金預金	302,593,114	
事業未収金	39,142,179	
貯蔵品	1,168,680	
固定資産	640,338,183	
基本財産	559,088,731	
土地建物	166,462,258	
減価償却累計額	392,626,473	
その他の固定資産	81,249,452	
建物	1,176,912	
構築物	27,801,116	
機械及び装置	29,207,676	
車輛運搬具	9,625,512	
器具及び備品	7,797,080	
減価償却累計額		
権利	46,000	
ソフトウェア	128,700	
退職給付引当資産	5,466,456	
資産の部合計	983,242,156	

負債の部		当年度末
流動負債	22,065,317	
事業未払金	13,325,317	
1年以内返済予定設備資金借入金	2,500,000	
職員預り金		
賞与引当金	6,240,000	
固定負債	17,966,456	
設備資金借入金	12,500,000	
退職給付引当金	5,466,456	
負債の部合計	40,031,773	

純資産の部		当年度末
基本金	218,460,000	
基本金	218,460,000	
国庫補助金等特別積立金	170,021,468	
国庫補助金等特別積立金	170,021,468	
次期繰越活動増減差額	554,728,915	
次期繰越活動増減差額	554,728,915	
(うち当期活動増減差額)	46,156,756	
純資産の部合計	943,210,383	
負債及び純資産の部合計	983,242,156	

事業活動収支計算書

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日
(単位:円)

第2号の1様式

勘定科目		決算	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	2,539,868
		障害福祉サービス等事業収益	254,492,110
		経常経費寄附金収入	250,000
		サービス活動収益計(1)	257,281,978
		人件費	139,880,684
	費用	事業費	28,413,634
		事務費	18,375,790
		就労支援事業費用	2,607,335
		減価償却費	32,952,842
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-9,444,817
サービス活動費用計(2)	212,785,468		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	44,496,510		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	276,250
		受取利息配当金収益	18,283
	その他のサービス活動外収益	1,210,897	
	サービス活動外収益計(4)	1,505,430	
	費用	支払利息	309,580
その他のサービス活動外費用		5,800	
サービス活動外費用計(5)	315,380		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,190,050		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	45,686,560		

勘定科目		決算	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	
		施設整備等寄附金収益	5,450,000
		固定資産売却却益	
		サービス区分間繰入金収益	300,000
		特別収益計(8)	5,750,000
	費用	基本金組入額	4,650,000
		固定資産売却損・処分損	329,804
		国庫補助金等特別積立金積立額	
		サービス区分間繰入金費用	300,000
		特別費用計(9)	5,279,804
特別増減差額(10)=(8)-(9)	470,196		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	46,156,756		
前期繰越活動増減差額(12)	508,572,159		
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	554,728,915		
繰越活動増減差額の部	基本金取崩額(14)		
	基本金取崩額(15)		
	その他の積立金取崩額(16)		
	その他の積立金積立額(17)		
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	554,728,915	



三和電業(株)様より ご寄付をいただきました。

～暖かなお気持ち～

ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。



三和電業(株)様より

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

●令和元年度団体会員 令和元年5月1日～令和元年8月31日

アカマツ(株)高松営業所

●令和元年度個人会員 令和元年5月1日～令和元年8月31日

近藤 文雄	近藤 豊子	西山 香織	桑田 まり	遠藤 定則	大矢三千代	植原 静夫	関 千賀子
大川 和	後藤 博幸	後藤加代子	山本 和市	沖野 昌志	沖野 貴子	沖野 知晴	小野 晴世
上田 祐市	上田 絹代	上田 和正	小松千賀子	藤岡 幸弘	計野浩一郎	河島 淳子	富田 ト工
青井 美彦	池下 律子	磯部 康子	佐竹 勝利	小川 博子	真鍋 康德	細井 千秋	真嶋 方文
真嶋 邦子	山西 明	多田 修	三好美千代	三好 紀子	松本 淳子	高木 俊幸	山西 大介
近藤 勝	細川 恵可	梶原由紀子	森 正幸	西原 武夫	西原 恵子	武内 京子	筒井 政志
藤岡 正温	田中 輝明						

令和元年5月1日～令和元年8月31日現在以上の方々に継続及び新規にご入会頂きました。

令和元年9月1日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させていただきます。本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とグループホーム「風見の家」をサポートしています。今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

[年会費]個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

[ご入金方法]郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました

第14回地域とのつどい ご案内

●令和元年11月17日(日) 10:00～14:00

●障害者支援施設ウインドヒル敷地内 地域交流棟とその周辺(香川県高松市三谷町 3851 番地)

利用者、職員一丸となって準備に励んでいます。当日のイベント、バザー、展示作品等、一生懸命に、丁寧に、心を込めて作っています。来場される皆様にとって地域とのつどいが思い出深い1日となるように、準備を進めていますのでご期待ください。利用者の頑張りや成長をぜひ、当日ご覧ください。

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。

当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。

スマートホンでは、右のQRコードから読み取れます。 アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

編集後記



松ほっくりのポムです。

表紙にもあります清掃ボランティア活動で新たな発見がありました。同じ清掃でも施設内では障害特性により動作が止まる、こだわりで次の行動に移れない利用者さんが境内の清掃になると別人のように止まることなく落ち葉を拾い集めていました。

「この人はこうだからできない」は支援側の思い込みであり、「こうすればできるかもしれない」と環境を変えてみたり、支援の工夫をすることの大切さを活動から感じました。



松ほっくりのパンです。